



青少年赤十字新聞 第14号 やまぐち版 平成31年2月発行

第3回

山口県・韓国蔚山広域市青少年赤十字国際交流事業

青少年赤十字の実践目標のひとつである「国際理解・親善」の充実・強化を目的として、山口県と大韓民国蔚山(ウルサン)広域市の青少年赤十字メンバーが相互交流を行う取り組みをこの夏も開催しました。この事業は4カ年計画(平成28年～31年)での実施となり、3年目となる今年は、中学・高校生メンバー同士の交流を行いました。

8月1日～5日(4泊5日) 山口県支部受入事業

中学・高校生6名、指導者4名が来県！



歓迎セレモニー(日赤山口県支部にて)

8月1日	来日(福岡空港着) 歓迎セレモニー
8月2日	血液センター見学 大内塗箸作り体験 県内視察
8月3日～4日	高校トレセン参加
8月4日	ホームビジット
8月5日	帰国(福岡空港発)

高校リーダーシップ・トレーニング・センターに参加！

県内のJRC高校生メンバーとともに、防災教育プログラム、非常食の炊き出し体験、レクリエーション等を通して、楽しく交流を深めました。



まず始めにじゃんけん列車でアイスブレイク！更に日本文化紹介では、それぞれのホームルームで考えた折り紙やその他様々な内容で交流しました。

日本と韓国での青少年赤十字活動を紹介しあい、世界でそれぞれ活動するたくさんのメンバーがいることを実感しました。通訳がなくても、それぞれで英語やジェスチャー、表情などでしっかりコミュニケーションがとれていました！



ウルサン

8月9日～13日(4泊5日) 韓国・蔚山派遣事業

韓国・蔚山広域市派遣メンバー

柳井市立大畠中学校 2年1名、3年1名
 山口県立高森高等学校 2年1名
 山口県立響高等学校 2年1名
 山口県立華陵高等学校 3年1名
 山口県立熊毛南高等学校 3年1名
 山口県鴻城高等学校 3年1名 合計7名
 青少年赤十字指導者3名、日赤県支部職員1名

8月9日	出発(福岡空港発) 歓迎セレモニー
8月10日～11日	RCY仲良しキャンプ※ 蔚山支社での交流プログラム
8月12日	ホームビジット
8月13日	帰国(福岡空港着)

※RCY=Red Cross Youthの略で、青少年赤十字の意味

RCY(Red Cross Youth) 仲良しキャンプで交流！

レールバイクや施設見学、甘川洞村エリア散策など様々なプログラムを体験。また、大学生の赤十字ボランティアによるレクリエーションではバルーンアート作りも！楽しみながら交流を深めました♪



レールバイク体験



バルーンアートのレクリエーションで作った傑作とともに



韓国RCYのボランティア 活動を実体験！

大人の赤十字ボランティアの指導のもと、RCYメンバーとともにマフィンを作り、高齢者施設へ届けました。泣いて喜ぶ入所者の方もおられ、言葉は違っても気持ちは通じるということを実感しました。



支社内にある調理室でマフィンづくり



入所者の方へプレゼント



**RCYメンバーへ
日本文化の紹介！**

事前に話し合い、しっかり準備をしてきた日本の遊びや文化を紹介！自分たちの言葉で楽しみながら紹介しました。

／韓国メンバー宅にホームビジット♪／



参加メンバーの感想（一部抜粋）

- ・住んでいる国は違っても私たちと同じで、すぐ仲良くなる事ができた。全部がとても楽しかった。
- ・私は交流した友だちに韓国語で手紙を書いて送ってみました。もっと様々な交流を深めたいです。
- ・言葉が通じなくても伝えあえること、だれにでも親切で優しいということの主に2つを学んだ。

2019年度は4力年計画の最終年度！小学生の交流を予定していますので、ぜひご参加下さい！

第6回山口県赤十字救急法競技大会開催！

ワールド・ファースト・エイド・デー（世界救急法の日）の関連行事として、今年度第6回目の「山口県赤十字救急法競技大会」を9月9日に山口南総合センターで開催しました。

この大会では、普段赤十字が広く普及を行っている心肺蘇生や応急手当の適切さをトーナメント形式で競技として競い、今回は県内から過去最多の32チームが出場。大学生や社会人チームとともに、県内の加盟高校からは4校・13チームのエントリーがあり、熱戦が繰り広げられました！



山口県鴻城高校チーム



宇部商JRC部チーム



南陽工業高校チーム



防府高校JRC部

／ 高校生チームは、事前の練習と日頃のJRC部での活動経験が光っていました！ ／



総合優勝		山口県鴻城B
心肺蘇生の部	準優勝	山口県鴻城B
応急手当の部	準優勝	山口県鴻城B
//	第3位	山口県鴻城F
特別賞		南工JRC部A



今年も！

リーダーシップ・トレーニング・センターを開催！

今年の夏も各校リーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)を実施しました。集団宿泊のなかで、「気づき・考え・実行する」力を育むさまざまな学習・体験プログラムが実施され、メンバーたちは学校・さらには国をも越えて友情を育みました！

小学校:8月8日～10日 2泊3日 4校:湯田、関西、中村、嘉川小 31名参加！



ホームルームごとにアイスブレイク
みんなで仲良くなりましょう♪



学校でどんなボランタリーサービス
ができるかな？話し合いました。



猛暑のため、野外活動はお休み。
体育館で思いっきり体を動かしました。

中学校:8月10日～12日 2泊3日 4校:国府、平川、大殿、大畠中 23名参加！



理想のリーダーとは？それぞれの
考えを書き出し、共有します。



いざという時に備えて、救急法で三
角巾を使った応急手当を練習！



今年は晴天に恵まれ、たくさんの
思い出を作ることができました。

**高校:8月2日～4日 2泊3日 9校:華陵、徳山、防府西、西京、県鴻城、宇部商、宇部工、
下関南、響 20名参加！**



韓国メンバーと一緒にポリ袋を
使った非常食炊き出しを体験！
とってもおいしくできました♪



学校に帰って実践する活動計画
を作成中！指導者の先生方に
アドバイスをもらいます。



今回から2泊3日で実施。県内各
地区から例年より多く参加者が
集まりました！

福島県被災地視察及び高校青少年赤十字との交流研修に参加！

華陵、徳山高校のメンバー2名と指導者1名が福島県被災地視察及び福島県のメンバーとの交流研修に参加しました。この研修は福島県のJRCメンバーが運営しており、震災から7年経った町の様子、当時のことや、復興の様子などを伝えられました。全国からのメンバーとともに防災について考えました。また、再生可能エネルギーの開発、食の安全に対する取り組みといった、これからの時代をリードする産業の現場を視察し、災害からの復興の先の取り組みについて学びました。



市内には放射線量を測る機械が設置されている



震災当時の様子をまとめたものを説明をうける

青少年赤十字国際交流集会 Tokyo 2018 で世界中のメンバーと交流！

高校生代表メンバー(宇部商2年生)1名が、東京で開催された国際交流集会に参加しました。これには、東ティモール民主共和国やトンガといったアジア・太平洋州の20の国から40名のメンバーが招聘され、「社会における青少年赤十字メンバーの役割を考える」という大きなテーマのもと、今回は高齢化、災害、多文化共生について、自分たちが属する国や地域でどのようにリーダーシップを発揮できるかを交流を通して考え、今後の活動に繋げるワークショップ等に取り組みました。



参加したメンバーの感想

沢山の国のメンバーと交流ができ、本当に良い体験になりました！
通訳もいましたが、会話は全て英語。また、海外メンバーへの説明は全て英語であるため、日本人の私も期間中ずっと聞いていると苦手な英語も最後には聞き取れる様になりました！



青少年赤十字シンボルツリーの記念植樹をしました！

10月30日、山口ゆめ花博『2050年の森ゾーン』にて、山口県支部設立130周年記念行事として「イトスギ」の植樹式を行いました。阿知須幼稚園の年長園児47名と山口県青少年赤十字賛助奉仕団により苗木が植えられ、イトスギのように天高くまっすぐ伸びるよう、子どもたちと赤十字の成長への思いが込められました。

＼大きなあれ～大きなあれ～／



NHK海外たすけあい募金にご協力ありがとうございました！



藤村学園旭幼稚園

12月1日、募金キャンペーンの初日に合わせて、NHK山口放送局にてオープニングセレモニーを実施しました。藤村学園旭幼稚園の代表4名から、園内で集めた募金が「大事に使ってください」というメッセージとともに手渡されました。



野田学園幼稚園

12月13日、野田学園幼稚園の年中・年長園児32名が山口市の中心商店街で街頭募金を行いました。手作りの募金箱や旗を持って、元気な声で「募金をお願いします！」と道行く人に声を掛けて一生懸命募金を集めてくれました。

日赤県支部へ直接
持参された学校も！



山口県鴻城高校



白石中学校



ホッと安心！癒しのハンドケア＆リラクゼーション

ハンドケアとリラクゼーションは、「健康生活支援講習」の中で提供しているプログラムであり、日本赤十字社が災害時には被災者の方に少しでも肩の力を抜いて、リラックスして欲しいという目的で実際に行っているものです。今回は、それを活用した取組を紹介します！

湯田小



＼事前に講習を受け、老人ホーム訪問で実践！／

10月30日、JRC委員会5・6年生の児童が、学校向かいにある老人ホームを訪問し、赤十字の「癒しのハンドケア」を行いました。その後、童謡「もみじ」の合唱と、手作りのメッセージカードをプレゼントしました。入居者からの「気持ちよかったよ。」「上手だね。」の声に、「喜んでもらえて良かった。」と感想がありました。

大畠中



＼立志式を前に全校生徒で講習受講！／

1月22日、大畠中全校生徒と教員を対象に、ハンドケアやリラクゼーションの研修を実施。立志式に地域の方を招いて、それで実践するための研修です。まずは高齢者について学び、ホットタオルの作り方、腕をあたためてからハンドマッサージ、最後に背中に手を当ててリラクゼーションを楽しみながら練習しました♪

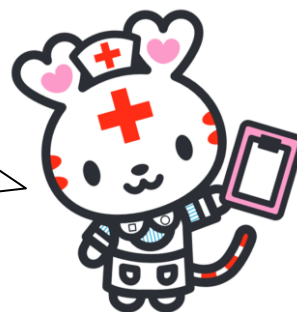
宇部商業高校で高齢者福祉体験を実施しました！

10月31日、1年生の人権学習の一環として、介護現場や高齢期の心身の変化、特徴について、理解するために実施されました。小野田赤十字病院職員による介護の仕事についての講話と、高齢期の体を疑似体験する道具を使った実技を実施しました。また、講話と併せて認知症の方に対する接し方を講師が実演。正しい声掛けの方法などが紹介されました。



高齢者疑似体験セットなど福祉教材をご活用下さい♪

視界ゴーグルやサポーター、おもりなどを身に付けて
実感するセットです。車いすも貸し出し可能です。



命をまもる防災教育を推進する会 防府市をモデル地域とした大雨防災ワークショップ 3カ年計画の実施が市内全て終了！



日赤県支部は、下関地方气象台、日本気象予報士会西部支部と連携し、「命を守る防災教育を推進する会」を結成しています。これまで、県内各地で大雨防災ワークショップの出前講座をしていますが、防府市では市教育委員会と共同で、“教員によるワークショップ”を実施しています。会が作成したマニュアルについて、市内全小・中学校の担当教員を対象に研修会を実施。受講後、各学校でこのマニュアルを活用したワークショップが防災を学ぶ場で順次実践されました！

幼児向け防災教育教材

「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」が完成！



地震や津波、風水害等、6つのテーマで、モノと行動の両面から子供たち自身が、身の周りにある危険を発見していくものです。今年度より、青少年赤十字加盟園にはこの教材をお届けしています。

特徴
1

楽しみながら
防災を学べる

特徴
2

災害時の行動による
結果まで分かる

特徴
3

テーマ別なので
学びたい部分だけ実施可能

構成内容



解説書



教材

A1サイズのシート17枚

各シートの両面に6つのテーマの問題と答えが印刷されています。



※各テーマにつき問題4枚、答え1枚で構成されているので、色々な使い方ができます(導入は1枚ずつ)。



平成30年10月17日
長門市立三隅保育園で初実施！
みんなでわいわい楽しみながら、
防災について学びました♪

各園・校の取り組みについて、情報をお待ちしています！ どんどんお寄せください！

【連絡先】日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口市野田172-5

TEL 083-922-0102 FAX 083-932-3615 E-Mail info@yamaguchi.jrc.or.jp